

第14回検討委員会 グループ討議の内容について

実施形態

- ・委員によるグループ討議（ワークショップ形式）
- ・グループ（班）の数は4つ、各グループ（班）にファシリテーターを配置
- ・各グループ（班）の人数は5人程度、種別の異なる委員で構成

討議内容

『 提言案の検討 』

以下の4点を中心に、素案の内容について修正や追記、削除等を検討

- ・ 提言① 十日町市教育大綱及び学校教育の重点の実現を踏まえた学校教育のあり方
- ・ 提言② 学校教育に必要な環境整備（教職員体制、施設・設備の整備等）
- ・ 提言④ 再編に伴う留意事項及び対策（通学手段、地域への配慮等）
- ・ 提言の前段部分（はじめに、中学校をめぐる現状と課題等）

※提言③ 中学校の適正な配置は、次回12月の第15回会議で集中的に討議します

討議方法

- ・各自が素案に対する意見や修正・追記・削除内容を付箋に記入
- ・素案に共感する場合や共感するも一部修正・追記したほうがよいと思う場合は『青色の付箋』に記入、素案に異議ある場合や大きく内容を変えたほうがよいと思う場合は『桃色の付箋』に記入
- ・各自が付箋を説明し、ファシリテーターが関連・類似した付箋を模造紙上に分類
- ・全員で模造紙上にまとめたものを確認し、ファシリテーターが発表

留意事項

- ・付箋1枚につき、一つの意見を記入（複数の意見を寄書きしない）
- ・内容は簡潔明瞭、具体的に記入（長文を記入しない）
- ・単語のみや疑問文はできるだけ避ける
- ・共感し修正の必要がない場合も、その旨を青色付箋で表明できる
- ・意見内容は簡潔に説明する
- ・他者の意見を否定せず最後まで聴く（反対意見は付箋に記入して発表する）

グループ討議の進め方

第14回 市立中学校のあり方検討委員会 意見交換 進行表	
<はじめに>	
19:00	開会あいさつ（委員長） 実施方法等の説明・質疑
<グループ討議> 進行はファシリテーター	
19:10～ (30分)	<p>グループ内あいさつ、進行の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提言① 十日町市教育大綱及び学校教育の重点の実現を踏まえた学校教育のあり方 ・ 提言② 学校教育に必要な環境整備 <p>素案に共感する場合や共感するも一部修正・追記したほうがよいと思う場合は『青色の付箋』に記入、素案に異議がある場合や大きく内容を変えたほうがよいと思う場合は『桃色の付箋』に記入</p>
19:40～ (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言④ 再編に伴う留意事項及び対策 ・ 提言の前段部分（はじめに、中学校をめぐる現状と課題等） <p>素案に共感する場合や共感するも一部修正・追記したほうがよいと思う場合は『青色の付箋』に記入、素案に異議がある場合や大きく内容を変えたほうがよいと思う場合は『桃色の付箋』に記入</p> <p>意見内容の確認、グループ内総括</p>
20:10～ (15分)	各グループ（班）の意見内容発表
20:25	雲尾委員長講評
<おわりに>	
20:30	事務局連絡 閉会あいさつ（副委員長）
閉会后	模造紙の写真撮影（事務局対応）

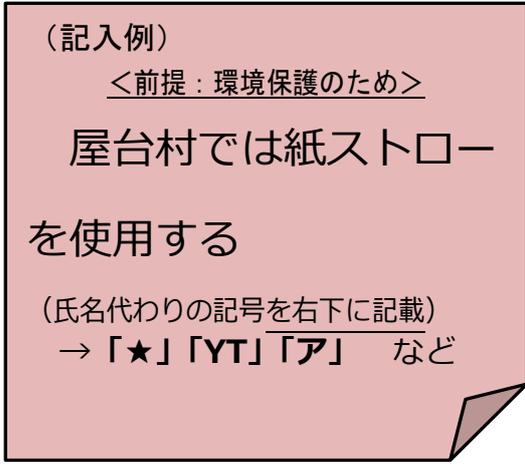
グループ（班）編成（当日出席予定者で構成）

（敬称略）

班	ファシリテーター
1	小野塚裕一
2	細木久成
3	藤田 剛
4	山岸正幸

※第6回（3月実施）・第13回（10月実施）のグループ討議班編成を基に構成

付箋の使い方

<p>裏面「のり」部分が上になるよう、付箋のおもて面に記入</p>	<p>付箋1枚につき、一つの意見を大きな字で簡潔に記入 ※各自が氏名代わりの記号を表示</p>
 <p>（裏面「のり」）</p> <p>（おもて）</p>	 <p>（記入例） <前提：環境保護のため> 屋台村では紙ストロー を使用する （氏名代わりの記号を右下に記載） → 「★」「YT」「ア」 など</p>
<p>記入した人は内容を読み上げ、模造紙に貼り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記入内容が不明瞭な場合は、改めて記入 ・ 意味の近い付箋同士をグルーピングし、タイトルを付ける ・ グループに関係線を引いてもOK <p style="text-align: right;">→ これらはファシリテーターが主導</p>	

以上